

## 平成24年度中小企業組合検定試験

### 【組合運営】 解答

#### 第1問

(解答例)

BCPは、大地震など災害発生時に、事業資産の損害を最小限に食い止めるとともに、中核事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平時に行うべき活動や災害発生時における事業継続の方法、手段等を取り決めておく計画を言い、昨今その重要性が高まっている。中小企業組合においても組合事業のBCPの策定が必要であるとともに、組合員におけるBCP策定指導も必要不可欠である。

特に、中小企業のBCPにおいては、同業者間の連携が重要かつ効果的であるが、サプライチェーンや分業が発達した業種では、原材料調達企業や納入先企業の事故による企業存続の危機も想定し、関連業界との間の連携も視野に入れた計画づくりが必要である。組合の危機管理委員会等が母体となり、「中小企業BCP策定運用指針」や「中小企業のBCP計画」(中小企業庁)を参考に専門家の助言を得て早期に具体化することが必要である。

#### 第2問

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
サ	コ	ク	ア	タ	シ	ウ	コ	カ	ケ

#### 第3問

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
○	×	○	○	×	○	×	○	×	○

#### 第4問

1	2	3	4	5
×	○	○	×	○

#### 第5問

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
イ	ウ	イ	ウ	ア	ウ	イ	ア	ウ	イ